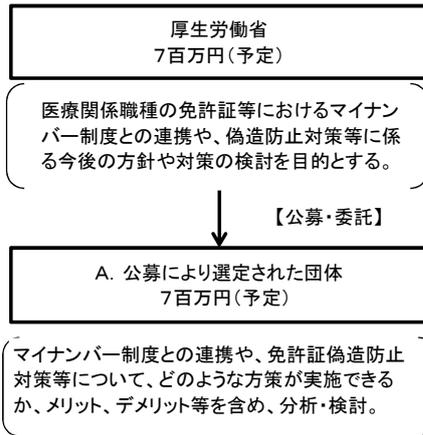


平成27年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療関係職種の免許証等に係る分析・検討事業			担当部局	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医事課試験免許室		室長：古川 浩二	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療関係職種の免許証等について、マイナンバー制度における個人番号カードとの連携や、免許証偽造防止対策等の分析・検討を外部に委託し、その報告内容を踏まえ、今後の方針や対策を実施することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療関係職種の免許証を活用した、マイナンバー制度との連携や、免許証偽造防止対策等について、どのような方策が実施できるか、メリット、デメリットを含め、外部団体者に分析・検討を委託する。							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額(単位：百万円)	予算状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	7
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-
		計	0	0	0	0	0	7
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	職種	-	-	-	-
			目標値	職種	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と24~26年度の達成状況・実績				
	本事業は、医療関係職種の免許証における、マイナンバー制度との連携や偽造防止策等について、今後の方針や対策を検討するために分析・検討を行うものであり、作成された報告書を踏まえ、対策等が実施されることから、事業実施期間中に定量的な目標を設定することは困難である。			医療関係職種の免許証における、マイナンバー制度との連携や偽造防止策等の分析・検討結果について報告書を出す。				
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28 年度
	分析・検討結果の報告書	報告書数	実績	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	検討会開催回数	活動実績	回	-	-	-	-	-
		当初見込み	回	-	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込
	予算執行額/検討会開催回数			単位当たりコスト	百万円	-	-	-
				計算式	X / Y	-	-	-
平成27・28年度予算内訳(単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	保健福祉調査委託費	-	7					
	計	0	7					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	各種免許証と個人番号カードの連携は、日本再興戦略等にも記載されており、国民や社会のニーズを的確に反映した事業と言える。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療関係職種免許証の交付は、医師法等の各種身分法において厚生労働大臣の免許を受けるものとされていることから、当該事業は、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	各種免許証と個人番号カードとの連携や、免許証偽造対策等は、国民及び社会の利便性の向上や、安心・安全な医療提供体制に繋がるため、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	-			
	改善の方向性	-			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

